(財)財務会計基準機構会員

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名　株式会社 東邦システムサイエンス　　上場取引所　東
コード番号　4333　URL　http://www.tss.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）篠原　誠司
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長　（氏名）高橋　誠　TEL 03-3868-6060
四半期報告書提出予定日　平成21年8月13日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,909	0.4	29	△85.2	32	△84.1	△27	—
21年3月期第1四半期	1,900	—	201	—	204	—	109	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△3.95	—
21年3月期第1四半期	18.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	6,533	3,850	58.9	558.24
21年3月期	6,544	3,967	60.6	575.14

（参考）自己資本　22年3月期第1四半期　3,850百万円　21年3月期　3,967百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	17.00	17.00
22年3月期	—				
22年3月期（予想）		—	—	17.00	17.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,750	△7.2	40	△91.5	44	△90.8	△20	—	△2.90
通期	8,150	0.5	315	△65.7	320	△65.0	128	△74.9	18.56

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)　有

新規　1社　(社名　株式会社インステクノ　　)　　除外　―社　(社名　　)

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	6,932,996株	21年3月期	6,932,996株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	35,434株	21年3月期	35,234株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	6,897,594株	21年3月期第1四半期	6,009,036株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。
2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展により輸出や生産などに一部持ち直しの動きが見られたものの、企業収益や設備投資が大幅に減少しており、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

企業の情報システム投資も慎重で、案件の選別や品質、価格、納期に対する要求が厳しさを増しており、情報サービス業界を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況にあります。

こうした経営環境のもと、当社グループは４月１日付で連結子会社となった株式会社インステクノと連携し、損害保険事業の競争力を強化しました。

また、既存顧客の深耕開拓と新規顧客の積極的な開拓による受注確保を図るとともに、プロジェクトの品質管理、生産性向上、原価低減に注力し、開発要員の適正配置に努めるなど、グループ一丸となり収益の確保に鋭意取り組みました。

この結果、売上高においては株式会社インステクノの売上高が寄与したことにより前年同期に比べ微増となりましたが、利益面では顧客のコスト圧縮要請や想定以上の需要減少による要員配置の適正化対応が追いつかず、大幅な減益となりました。

以上により、当第１四半期の業績は

売上高	1,909百万円	（前年同期比　0.4％増）
営業利益	29百万円	（前年同期比 85.2％減）
経常利益	32百万円	（前年同期比 84.1％減）
四半期純損失	27百万円	（前年同期は109百万円の四半期純利益）

となりました。

なお、投資有価証券の売却損及び株式会社インステクノの本社移転に係る費用を特別損失として計上したことにより四半期純損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①ソフトウェア開発

当社グループの中心的なビジネス領域である金融系業務は1,600百万円（前年同期比6.5%増）となりました。銀行系業務、証券系業務、生命保険系業務は前年同期水準を下回ったものの、損害保険系業務は636百万円（前年同期比134.7%増）と大幅に増加し、情報通信系業務が概ね前年同期水準を維持したことなどにより、売上高は1,839百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

②情報システムサービス等

主たる業務であるコンピュータ運用管理業務は堅調に推移し、売上高69百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

＜資産、負債及び純資産の状況＞

当第１四半期連結会計期間末における総資産は6,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少しております。これは主として、のれんの増加と、投資有価証券、売掛金の減少によるものです。また、負債合計は2,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加しております。これは主として未払費用の増加によるものです。純資産は3,850百万円となり前連結会計年度末に比べ116百万円減少しております。これは主として配当金の支払いによるものです。これらの結果、自己資本比率は58.9％となり、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント減少しております。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ２百万円増加し、4,198百万円となりました。

当第１四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、143百万円（前年同期比8.1％減）となりました。これは主な増加要因として、売上債権の減少額が304百万円、未払費用の増加額が319百万円、主な減少要因として、税金等調整前四半期純損失が16百万円、賞与引当金の減少額が163百万円、仕入債務の減少額が185百万円、法人税等の支払額が183百万円あったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、68百万円（前年同期比78.9％減）となりました。これは主な増加要因として、投資有価証券の売却による収入222百万円、主な減少要因として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出270百万円があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、73百万円（前年同期は13百万円の獲得）となりました。これは主として、配当金の支払額72百万円があったことによります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成21年５月14日に公表いたしました平成22年３月期の第２四半期累計期間及び通期の業績予想（連結・個別）を修正しております。詳細については本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式会社インステクノは平成21年４月１日付の株式取得に伴い、新たに連結子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第１四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が、前連結会計年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益及び費用の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、完成基準を採用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号　平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号　平成19年12月27日）を当第１四半期連結会計期間より適用し、当第１四半期連結会計期間に着手した契約から当第１四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については進行基準（ソフトウェア開発の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については完成基準を適用しております。

これにより、売上高は11百万円、営業利益及び経常利益は2百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は２百万円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,804,563	3,802,322
売掛金	924,252	1,055,769
有価証券	404,110	403,946
仕掛品	16,359	14,629
繰延税金資産	229,371	168,700
その他	51,893	82,977
貸倒引当金	△2,738	△3,235
流動資産合計	5,427,811	5,525,111
固定資産		
有形固定資産	35,773	27,964
無形固定資産		
のれん	252,412	－
その他	5,110	1,412
無形固定資産合計	257,523	1,412
投資その他の資産		
投資有価証券	86,465	289,420
繰延税金資産	546,586	531,142
その他	180,458	170,450
貸倒引当金	△1,050	△1,050
投資その他の資産合計	812,460	989,962
固定資産合計	1,105,758	1,019,339
資産合計	6,533,569	6,544,451

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	453,374	590,181
未払金	116,098	82,498
未払費用	421,089	88,432
未払法人税等	56,946	172,867
賞与引当金	190,969	296,742
役員賞与引当金	3,495	41,300
受注損失引当金	2,188	3,829
その他	115,161	60,684
流動負債合計	1,359,321	1,336,534
固定負債		
退職給付引当金	1,257,921	1,179,364
役員退職慰労引当金	65,800	61,370
固定負債合計	1,323,721	1,240,734
負債合計	2,683,043	2,577,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	531,902	531,902
利益剰余金	2,823,251	2,967,730
自己株式	△29,669	△29,594
株主資本合計	3,852,067	3,996,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,541	△29,439
評価・換算差額等合計	△1,541	△29,439
純資産合計	3,850,526	3,967,182
負債純資産合計	6,533,569	6,544,451

(2)【四半期連結損益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）
売上高	1,900,836	1,909,093
売上原価	1,493,930	1,614,244
売上総利益	406,906	294,849
販売費及び一般管理費	205,037	265,010
営業利益	201,869	29,838
営業外収益		
受取利息	441	203
受取配当金	550	1,318
助成金収入	180	180
保険事務手数料	316	319
貸倒引当金戻入額	645	592
その他	94	68
営業外収益合計	2,226	2,682
営業外費用		
固定資産除却損	－	27
営業外費用合計	－	27
経常利益	204,095	32,493
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	11,652	－
投資有価証券売却損	－	27,750
事務所移転費用	－	21,234
特別損失合計	11,652	48,984
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	192,443	△16,490
法人税、住民税及び事業税	119,141	53,730
法人税等調整額	△36,562	△43,004
法人税等合計	82,579	10,725
四半期純利益又は四半期純損失（△）	109,864	△27,216

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	192,443	△16,490
減価償却費	2,011	2,407
のれん償却額	－	13,284
ゴルフ会員権評価損	11,652	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	33,963	15,409
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,913	4,429
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△645	△592
賞与引当金の増減額（△は減少）	△138,902	△163,609
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△35,000	△40,992
受注損失引当金の増減額（△は減少）	2,372	△1,641
受取利息及び受取配当金	△991	△1,521
投資有価証券売却損益（△は益）	－	27,750
固定資産除却損	－	27
売上債権の増減額（△は増加）	213,813	304,277
たな卸資産の増減額（△は増加）	△121,395	△1,729
仕入債務の増減額（△は減少）	△10,344	△185,803
未払費用の増減額（△は減少）	318,365	319,556
未払消費税等の増減額（△は減少）	△1,334	15,167
その他	△76,445	35,879
小計	393,477	325,808
利息及び配当金の受取額	991	1,521
法人税等の支払額	△238,021	△183,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,447	143,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△645	△7,671
無形固定資産の取得による支出	－	△2,140
投資有価証券の取得による支出	△323,384	－
投資有価証券の売却による収入	－	222,250
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△270,798
その他	－	△9,954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△324,030	△68,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	75,215	－
自己株式の取得による支出	－	△75
配当金の支払額	△61,583	△72,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,631	△73,060
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△153,951	2,404
現金及び現金同等物の期首残高	3,732,693	4,196,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,578,742	4,198,607

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年６月30日）

ソフトウェア開発の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90％超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

ソフトウェア開発の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90％超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年６月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第１四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年６月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

該当事項はありません。

５．生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第１四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	1,841,102	93.4
情報システムサービス等	69,959	96.3
合計	1,911,061	93.5

(注) １ 金額は、販売価格によっております。
２ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第１四半期連結会計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	1,651,710	111.4	1,679,017	75.9
情報システムサービス等	7,589	101.8	130,030	99.0
合計	1,659,299	111.4	1,809,047	77.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第１四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	1,839,134	100.6
情報システムサービス等	69,959	96.3
合計	1,909,093	100.4

(注) １ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２ 当第１四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第１四半期連結会計期間 (自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日)		当第１四半期連結会計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年６月30日)	
	金額（千円）	割合（%）	金額（千円）	割合（%）
㈱野村総合研究所	618,860	32.6	719,607	37.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。